

白石の新鮮野菜 う～んとうまいから、食べてみてけらい～ん！
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～

白石市農産物直売所連絡協議会では会員を募集しています。市内で直売活動をされている方などで興味のある方は、気軽にお問い合わせください。 ☎農林課 ☎22-1253



●3月の人気農産物

ホウレンソウ、キクイモ、ブロッコリー、ネギ、フキノトウ など



馬牛沼産直センター

毎週火・木・土・日曜日9:00～16:30

●場所

国道4号沿い馬牛沼付近

☎馬牛沼産直センター

☎25-0520



羽山産直市場「わんこの家」

【直売所】9:00～18:00 年中無休

【レストラン】11:30～14:00 水曜日定休

新鮮野菜直売所&地元産食材レストラン。新鮮野菜や白石産豚肉など、地元産の商品を取り揃えています。

●場所 白川犬卒都婆岩ノ上32-2(国道113号角田方面沿い)

☎羽山産直市場「わんこの家」

☎35-1022



軽トラ市 毎週金曜日9:00～12:00 新鮮野菜を安く販売!

●場所 すまゝひろば

☎四竈 ☎29-2451、090-9429-6145

小十郎の郷 毎日9:00～18:00営業!

3月17日(土)～18日(日)「春彼岸セール」を開催します。また、テレビや雑誌で健康野菜として注目を集めている「キクイモ」も好評発売中!

～「ピュアホワイト」生産者募集中～



●場所 福岡長袋字八斗時1

☎小十郎の郷 ☎22-0881 http://www.kojuro-sato.com

小原いきいき直売所 【3月まで冬季休業】

☎高橋 ☎29-2269

※各直売所では、白石産の新鮮な旬の野菜や花、漬物などを販売しています(直売所により品ぞろえは異なります)。

※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。「SSN」は「白石・新鮮・農産物」の略称です。

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内(未発表のものに限る)。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

香を放ち梅の紅白三分四分苔むす鉢に朝をい
きほふ 菅野ちさよ
四月には花見しませう介護士のやさしき言葉
に夢つなぐ母 寺崎 悦子
雑煮には欠かせぬ香りか畑の隅小雪はらいて
野芹を摘みぬ 末吉アツ子
雪もなく初日拝まるる幸せよ数多の友と笑顔
をかかず 佐藤喜和子
週末は施設にえがおでやって来るわが娘めぐ
しも癒さるるなり 大野 文雄
年明けたま白雪のプレゼントすがすがし
て身の改まる 遠藤 舞
本年も庭に花など咲かせんと囀なれども夢を
みてゐる 高子うぶん
カーテンを開けてさわやか部屋中に日差し頂
く元日の朝 佐藤 啓子
何ひとつ変わらぬ街をさまよえばいつか静か
に果てんと思ふ 安藤 聡
初詣無病息災一番にふかぶかと礼する老若男
女 八巻 渡

俳壇

山家 弘子 選

【評】一首目、「苔むす鉢」とあって、庭前の
盆梅、昔なじみのよう。此の春もまた元気に
対してくれた喜びを詠う。
二首目、結句「夢つなぐ母」には作者の強
い願いが込められていよう。「ませ」に「う
は、話し手の意志を丁寧に表すことばだ。
三首目、野趣あふれるお作、「か」は感動。
初日記古希の一步を綴りたる
寒疾に犬の遠吠え連呼する
静かなる雪がしんしん降る夜は
鉛色の柱に似合う餅の花
初糶やまずと引かれし大鮎
初日の出異国語混じる船の中
星 安藤 聡 明
菅野ちさよ
沼田 菅火
藤多伊都子
平塚 冬晴

柳壇

四電 英夫 選

【評】一句目、七十歳になったら死ぬ準備期間。
この一年にこの瞬間に生き、人格を高め少し
でも美しい心になってあの世へゆくと、ある
本で読んだことがある。八十歳までの十年間
を如何に生きるか。その第一歩を初日記に綴
ったのである。
二句目、しんしんと寒い夜に「火の用心」
と大きい声で拍子木を叩いて、今も町内を夜
回りしている所がある。その大きな拍子木の
音に遠近の犬が遠吠えをする。心あたたまる
懐かしい景。
三句目、今までにない深い静かさに、もし
かして、窓の外を見ると雪がしんしん降っ
ていて、物音一つない。見るもの聞くものに
心を研ぎ澄ましてキヤッチする俳人の生活。
くつきりと冬の絵姿不忘山 門脇 貞造
イーグルス星野イズムでV目指せ湯川 雅巳
村度とそばになぞれモリとカケ安藤 聡
大晦日子を待つ家族除夜の鐘 村上 照夫
遠き縁あって今なお年賀状 末吉アツ子
餅に飽き納豆ご飯が人気のもの 佐藤 啓子
寒の入り日ごとに伸びる軒水柱 遠藤 松雄
処方箋三日坊主の酒たばこ 星 明
八十路越え病状ランク皆上位 大野 文雄
平昌に喜び叫ぶスキーヤー 遠藤 舞

人波をさけて最寄りの初詣
紺青の空に浮かべる雪蔵王
くつ下を重ね履きして寒の入
雪虫を幼子見つける城跡に
末吉アツ子
高子うぶん
佐藤 啓子
大庭美智子

山田市長の地域話題をPick up! BIG SMILE! 「食材王国みやぎ」推進優良活動表彰“大賞”に竹鶏ファーム

2月6日、「食材王国みやぎ」推進パートナーシップ会議第9回大会が仙台市で開催され、平成29年度「食材王国みやぎ」推進優良活動表彰「ブランド化部門」において、有限会社竹鶏ファームが大賞を受賞しました。

「食材王国みやぎ」は、宮城県の食産業振興のテーマで、地産地消の推進や「食」のブランド化などを目指し、食産業界関係者などによる情報共有と連携を進めています。

今回の表彰では、「地産地消の推進」および「ブランド確立」の2分野において、先導的・模範的な活動を実践している事業者や団体などに対して、同会議から大賞と特別賞が贈られました。表彰式では、河端章好宮城県副知事が、同社志村竜生常務取締役へ表彰の盾を贈呈。その後行われた表彰事例発表では、志村常務取締役が、「竹の恵みと愛情たっぷり白石蔵王産たまごのブランド化」と題して、同社の商品「竹鶏たまご」のリブランディング(ブランドを再構築すること)の実践事例を発表しました。



1_ブランド化部門で大賞を受賞し記念撮影する志村常務取締役(中央)。隣は河端副知事 2_表彰事例発表では自社のブランド戦略を説明 3_竹の恵みと愛情たっぷりの「竹鶏たまご」

鶏舎の悪臭対策として消臭効果をもつ竹炭を飼料などに使用して生まれたブランド卵「竹鶏たまご」。平成25年から消費者視点を取り入れてブランドイメージやキャッチコピーを設定し、パッケージデザインを変更するなどのリブランディング戦略に着手されました。また、仙台市に広報マーケティング室を置くなど社内体制を新たに構築し、売り上げを伸ばしています。現在、仙台市内にある200店以上の飲食店が同社の卵を使用しているそうです。卵のソムリエではございませんが、「竹鶏たまご」の卵かけご飯は絶品ですので、皆さんもぜひお召し上がりください!

山田市長をイメージしたキャラクター「やまゆう」くん